

ゼネラルパッカー通信

# INVESTORS' GUIDE

2020年7月期(第59期)

2019.08.01→2020.07.31



世界の品質を  
”包装”で守る

証券コード 6267

包装システムのトータルプランナー  
 **ゼネラルパッカー株式会社**

社是 **創造と挑戦** — 感ずる、信ずる、行動する —

経営理念 わが社はつねに、独創的な技術を活かし、顧客の要請に応える高品質な『商品』を提供する。

ゼネラルパッカーは、包装システムの課題解決型メーカーです。

GOTグループ



当社

包装機械

各種自動包装機械及び  
周辺装置の製造・販売

- ・当社主力の包装技術
- ・ガス充填包装
- ・チャック付  
スタンドパウチ包装

生産機械

食品製菓機械の  
製造・販売

オサ機械  
株式会社

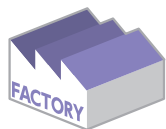


Since 1932  
OSA

当社グループのお客様

主要ユーザー

工場



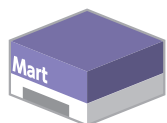
食品分野

化学分野

医薬品分野

その他

店舗



- ・スーパーマーケット
- ・コンビニエンスストア
- ・ドラッグストア
- ・ホームセンター等

病院



食品分野

- キャンディ
- パン粉
- 花かつお
- ふりかけ
- ナッツ類
- 小麦粉
- お茶
- かち割り氷
- お米・米菓
- ドリップコーヒー
- チョコレート
- 健康食品

化学分野

- 粉末洗剤
- 肥料

その他

- ペットフード
- 野菜・花の種

医薬品分野

- 輸液パック
- カテーテル
- 粉末薬品

魅力1 卓越した技術力

魅力2 優れた人材

新たな包装技術の創出を進めつつ、汎用性の高い製造技術を蓄積。また、全従業員のうち1/3が開発部及び技術部に所属、トータル人事システムに基づき、業界認定によるスペシャリストを育成しています。

魅力3 既存分野での高いシェア

小麦粉、かつおパック、かち割り氷など、多くの分野でのトップシェア獲得が安定した収益基盤につながっており、当社は上場以来赤字がありません。また、オサ機械はチョコレート製造機械分野でトップシェア。

魅力4 新規分野・海外分野への成長

新規分野の開拓による事業領域の拡大と海外マーケットでの成長を続けています。

魅力5 安定した株主還元

DOE2%以上の安定配当を続けています。

▶P4へ

新中期経営計画を通じて、  
**グローバル展開の  
拡大**を目指します。

株主の皆様におかれましては、日頃より当事業への厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

この度の新型コロナウイルスの感染によりお亡くなりになられた方に、心よりお悔やみ申し上げます。現在も治療を受けている方に一日も早い回復をお祈りするとともに、第一線で奮闘されている医療従事者の皆様に感謝申し上げます。

ここに当社第59期(2019年8月1日から2020年7月31日まで)の営業状況をご報告させていただきます。

ご一読の上、当事業へのご理解とともに、今後の成長に一層ご期待くださいますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 **牧野 研二**



当期の事業環境と営業活動の成果

まずは、当社の主力事業であります「包装機械事業」と「生産機械事業」の事業環境と販売推移についてご説明いたします。

包装機械事業の業界動向は、経済産業省の「生産動態統計」によりますと、当社が位置づけられている、製袋充てん機の生産額は、直近の2020年7月期上期において、前年同期の92.7%と減少していますが、引き続き高水準で推移しています。当社売上高は、主力機であるメカトロハイスペック

包装機を中心とした、給袋自動包装機の販売が好調に推移し、前年同期を上回る実績となっています。

生産機械事業の業界動向は、経済産業省の「生産動態統計」では、当社が位置づけられている、製パン・製菓機械の生産額は、直近の2020年7月期上期の生産額が前年同期の90.8%と減少しています。当社の生産機械事業につきましては、大型プラント案件の状況で大きく変動しますが、売上高は増加傾向で推移しています。

また、チョコレート市場環境と、それを含む菓子類全体の市場環境を比較しますと、この5年間で菓子類全体の市場

第5次中期経営計画総括（2018.7月期～2020.7月期）

※2019年9月6日発表の修正計画	計画	実績	計画比
売上高	8,900百万円	8,522百万円	95.7%
経常利益	600百万円	839百万円	139.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	420百万円	567百万円	135.0%
売上高経常利益率	6.0%以上	9.9%	+3.9p
ROA（総資産経常利益率）	6.0%以上	9.1%	+3.1p
ROE（自己資本当期純利益率）	10.0%以上	13.5%	+3.5p

総括

第5次中期経営計画策定時の計画は全ての項目を達成。20.7期の修正目標に対しては、売上高のみ未達となるものの、3期間とも増収・増益で推移し、20.7期は過去最高の業績となる。

が5%の伸びであるのに対し、チョコレート市場は16%の伸びとなっています。日本の1人当たりのチョコレート消費量は欧米の5分の1であり、食文化としての根付きとともに成長する余地があると考えています。

第5次中期経営計画の総括

2020年7月期を最終年度とする第5次中期経営計画においては、「連結グループの基礎固めから成長基盤構築の時期」と位置づけ、連結決算での利益率の向上と収益の拡大に取り組んでまいりました。2019年9月6日に修正した第5次中期経営計画の修正目標に対し、売上高のみ若干の未達となりましたが、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益、売上高経常利益率、ROA、ROEとも、計画を大幅に上回り、目標を達成いたしました。

国内市場においては、安定的な収益と成長の確保を目指

してまいりました。包装機械では、主力機であるメカトロハイバック包装機が好調に推移し、また大型案件の増加もあり、3期連続で前期を上回る売上高を計上することができました。生産機械では、2019年7月期に総額10億円を超える大型プラント案件の発生があったことから、2020年7月期はその反動で前期を下回りましたが、2016年9月にオサ機械が子会社となって以降、安定的な売上高の計上ができています。

海外事業においては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で、2020年7月期下期の売上高は計上時期のずれ込みが発生しましたが、大型案件の増加、2016年3月に設立した中国子会社の増収により、3期連続で前年を上回る成果となりました。

第5次中期経営計画においては成長基盤の構築について一定の成果を得ることができたため、第6次中期経営計画

においてはさらなる成長を目指し、「連結グループの安定成長基盤整備の時期」と位置づけ、国内市場での安定的な収益の確保とグローバル市場での売上高比率40%以上の実現に向けて取り組んでいきます（第6次中期経営計画の詳細につきましてはp.5～6をご参照ください）。

第60期の見通し

2021年7月期の業績見通しについては、売上高8,200百万円(当期比3.8%減)、営業利益646百万円(22.7%減)、経常利益650百万円(22.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益455百万円(19.8%減)を予想しています。新型コロナウイルス感染症の影響による企業収益の悪化や個人消費の低迷など、経済への広範な影響に伴い、景気は極めて厳しい状況で推移することが見込まれます。前期から当期への売上計上時期がずれ込んだ案件があるものの、受注

残高は減少傾向にあり、顧客の設備投資需要が鈍化することも想定されることから前期より減収を見込んでいます。

株主の皆様へのメッセージ

2020年7月期は、計画よりも増益となったことから、期末配当は5円増配して1株当たり35円とさせていただきます。2021年7月期は、減益予想により年間で55円を予定しております。

当社は食品や医薬品を安全・確実に包装する技術を通じて、より大きな社会貢献を果たせるよう、一層の努力を重ねるとともに、業績の向上と企業の健全性に努めていきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社事業への継続的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株主還元方針

株主の皆様への積極的な利益還元を図ることを基本方針として、連結配当性向 30%または連結純資産配当率(DOE) 2%を目安に、安定配当を堅持しつつ、業績動向を見ながら配当金の増加を目指しています。



■第6次中期経営計画策定

# グローバル展開の拡大とグループ会社間の事業連携強化によりさらなる安定成長を目指す

当社グループが属する包装機械業界及び食品機械業界におきましては、人手不足等を背景とした自動化・省力化に向けた設備投資需要が堅調に推移してきましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、先行きが非常に不透明な状況に変化しております。また、顧客からの多様かつ高度なニーズへの対応がより強く求められており、価格面での競争激化は依然として継続しているなど、当社グループを

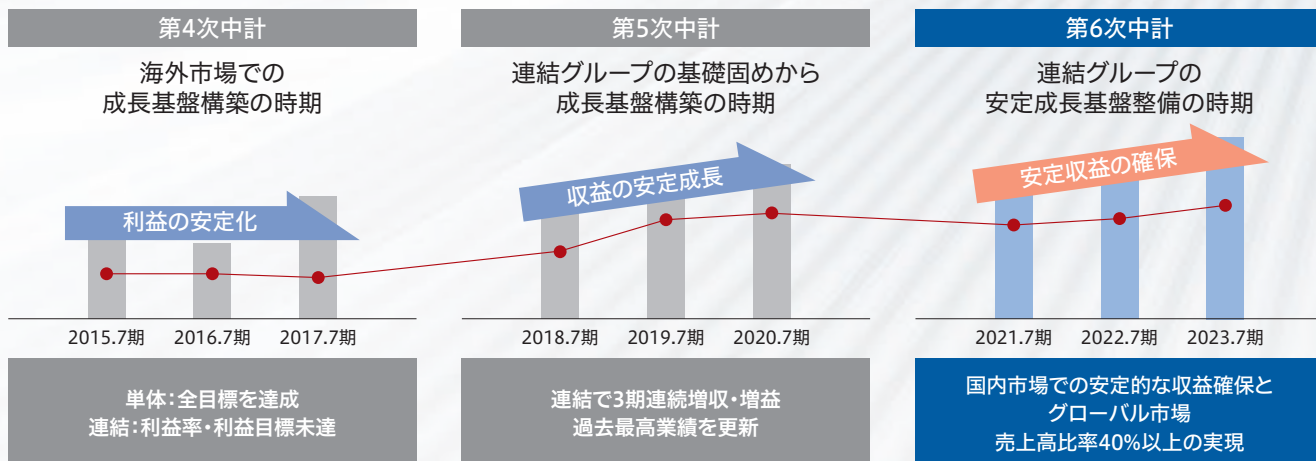
取り巻く環境は厳しい状況であると認識しております。

このような状況のもと、当社グループは「連結グループの安定成長基盤整備の時期」と位置づけた第6次中期経営計画(2021年7月期～2023年7月期)を策定いたしました。さらなる成長に向けて、グローバル展開の拡大とグループ会社間の事業連携強化を重要課題として、以下の各施策への取り組みを通じて、一層の業績向上を目指してまいります。

中期経営  
ビジョン

- 1 グローバル市場で信頼され、支持されるGPグループ
- 2 オープンイノベーションで応えるソリューションカンパニー
- 3 挑戦心と活気あふれる『ものづくり企業』

■第6次中期経営計画の位置づけ



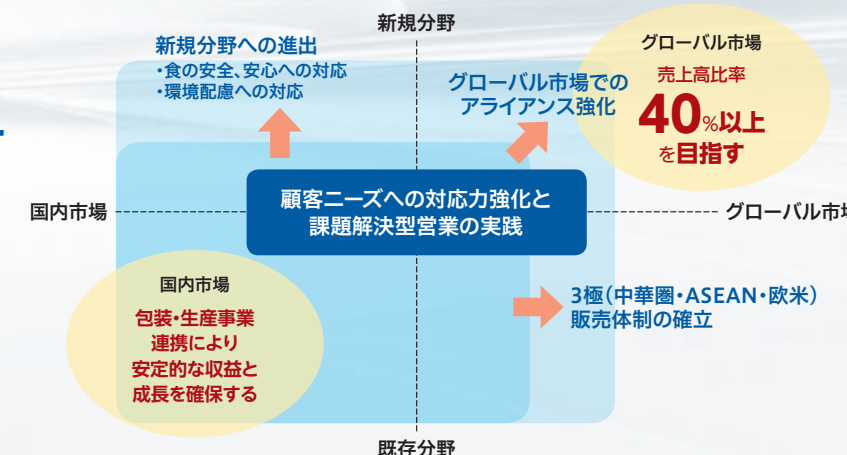
■中期経営計画数値目標

第5次中計		第6次中計	第5次中計		第6次中計
経営目標	2020.7期実績	2023.7期目標	業績目標	2020.7期実績	2021.7期目標
売上高経常利益率	9.9%	8.0%以上	売上高	8,522百万円	8,200百万円
ROA(総資産経常利益率)	9.1%	8.0%以上	経常利益	839百万円	650百万円
ROE(自己資本当期純利益率)	13.5%	9.0%以上	親会社株主に帰属する当期純利益	567百万円	455百万円

業績目標については、新型コロナウイルス感染症の影響や収束時期の見通しが困難なため、第1期2021年7月期目標のみの設定。

■基本戦略

## 「さらなる躍進に向け グローバル展開の 拡大を目指す」



販売戦略

- 1 海外3極(中華圏・ASEAN・欧米)での販売体制の確立
- 2 メカトロハイスペック包装機の拡販と新規分野への進出
- 3 顧客ニーズへの対応力強化と課題解決型営業の実践
- 4 包装機械と生産機械の協働によるグループ対応力の向上

開発・技術戦略

- 1 省力化機械の将来像を考えた企画・開発力の向上
- 2 顧客ニーズに即したメカトロハイスペック包装機のさらなる進化
- 3 オープンイノベーションの活用

マネジメント戦略

- 1 グループ経営管理体制の強化
- 2 経営基盤(人材確保・育成、インフラ整備)の強化
- 3 働き方改革の推進と人事労務政策の充実

生産・資材戦略

- 1 顧客満足度向上に向けたアフターサービス対応力強化
- 2 標準化と人材育成による生産力の強化
- 3 品質管理体制の強化

IT戦略

- 1 働き方改革に向けたITインフラ整備
- 2 IT・デジタル化を活用した業務効率化の推進、生産性向上
- 3 顧客満足度を高め、ニーズに即したITソリューション技術の確立

経営成績に関する定性的情報

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や高水準の企業収益などを背景に、景気は緩やかな回復基調であったものの、下半期に入ってから新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う国内外での経済活動の停滞・縮小の影響により、景気は急速に悪化し極めて厳しい状況に至りました。

このような状況のなか、当社グループは海外事業の拡大、グループ会社間の事業連携強化、生産力の強化に取り組んでまいりました。

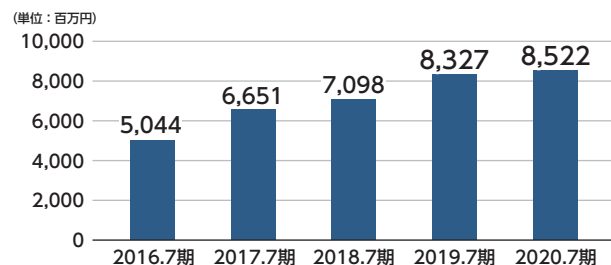
当連結会計年度における売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響により売上計上時期が次期へずれ込んだ案件が一部発生したものの、包装機械事業において期初段階での受注

残高が寄与したこと等により主力商品の販売が好調に推移したことから、前連結会計年度に比べ195百万円の増収となり、3期連続の増収となりました。利益につきましては、包装機械事業における増収効果に加え、販売費を中心に経費が抑制されたこと等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前連結会計年度に比べ増益となり、過去最高益を達成いたしました。

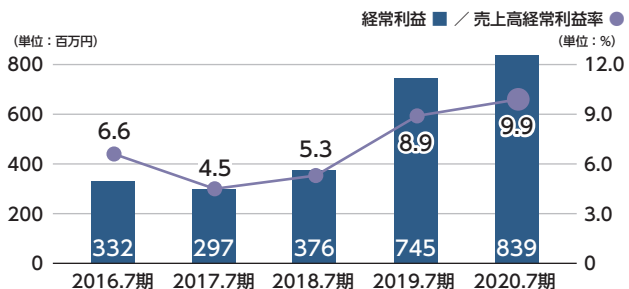
セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

包装機械事業は、売上高は7,434百万円、営業利益は765百万円となりました。また、生産機械事業は、売上高は1,088百万円、営業利益は68百万円となりました。

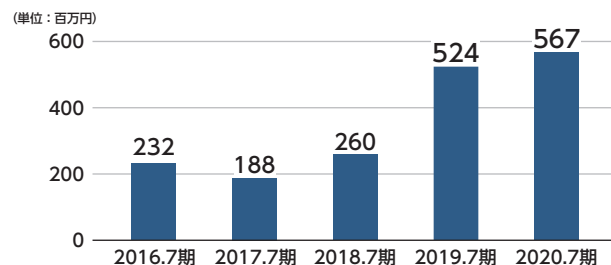
売上高



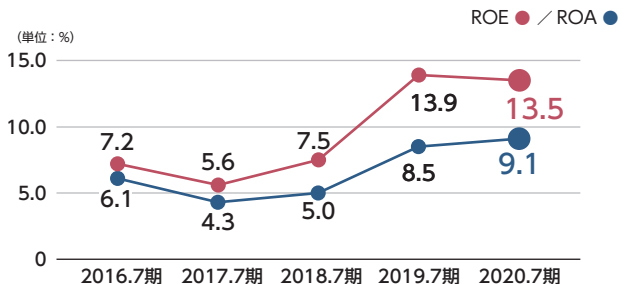
経常利益 / 売上高経常利益率



親会社株主に帰属する当期純利益

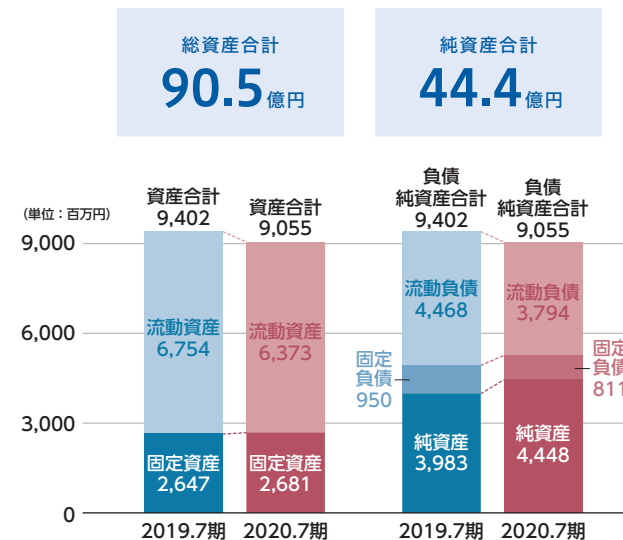


ROE / ROA

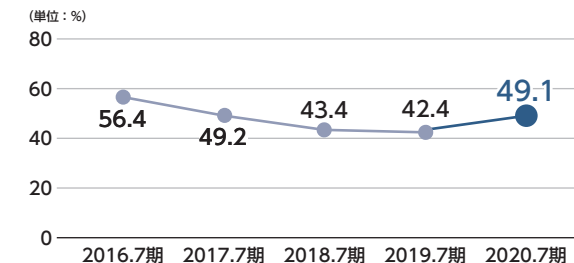


(注)2016年9月1日付でオサ機械株式会社を完全子会社いたしました。そのため、2016年7月期までは単体、2017年7月期以降は連結決算となっております。

財務状況



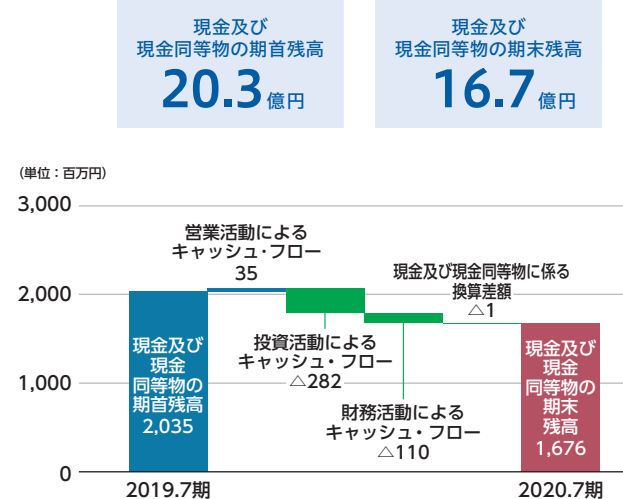
自己資本比率



財務分析

当連結会計年度における資産合計の減少した主たる要因は、有形固定資産が102百万円増加したものの、現金及び預金が258百万円減少したこと等によります。負債合計の減少した主たる要因は、仕入債務が190百万円、前受金が154百万円減少したこと等によります。純資産合計の増加した主たる要因は、利益剰余金が468百万円増加したこと等によります。

キャッシュ・フローの推移



キャッシュ・フロー分析

営業活動の結果得られた資金は35百万円(前期比95.7%減)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益838百万円、減価償却費104百万円等であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額307百万円、仕入債務の減少額189百万円、その他の流動負債の減少額385百万円等です。投資活動の結果使用した資金は282百万円(前期比129.6%増)となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出173百万円、定期預金の純増額100百万円等です。

包装機械



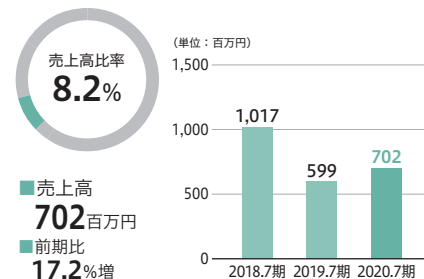
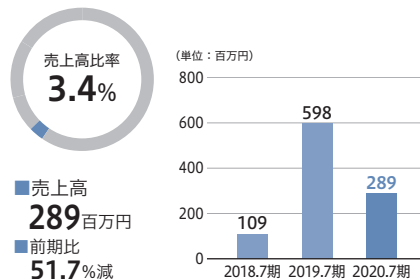
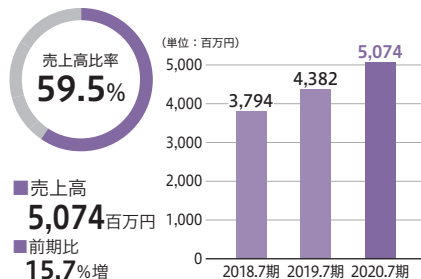
包装機械事業におきましては、メカトロハイスペック包装機を中心に給袋自動包装機の販売台数の増加等から、売上高は7,434百万円(前期比7.3%増)、営業利益は765百万円(前期比12.0%増)となりました。



給袋自動包装機(ガス充填自動包装機含む)

製袋自動包装機

包装関連機器等



生産機械

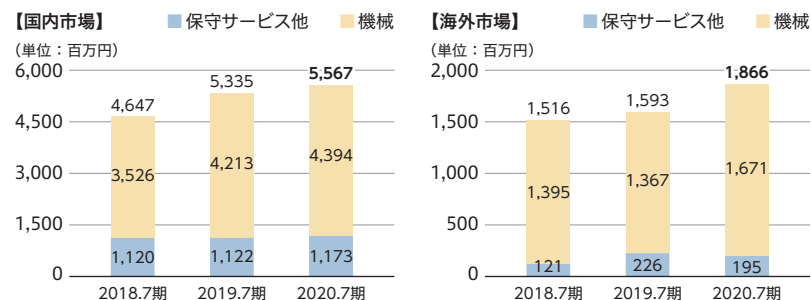
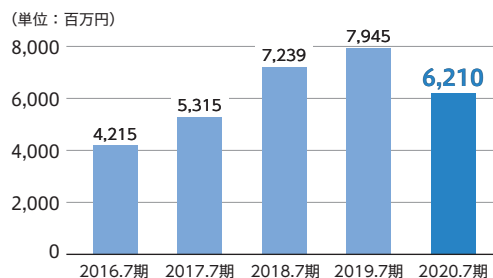


生産機械事業におきましては、大型プラント案件に係る付帯設備の販売実績の減少等から、売上高は1,088百万円(前期比22.2%減)、営業利益は68百万円(前期比20.6%増)となりました。



機械受注高

エンドユーザー国内・海外売上高 (包装機械)



(注)2016年9月1日付でオサ機械株式会社を完全子会社化いたしました。そのため、2016年7月期までは単体、2017年7月期以降は連結決算となっております。

会社概要

商号	ゼネラルパッカー株式会社
英文社名	GENERAL PACKER CO., LTD.
設立	1966年2月(創業 1961年12月)
資本金	2億5,157万7千円
事業内容	各種自動包装機械及び周辺装置の製造・販売、食品製菓機械の製造・販売
従業員数	191名(連結) 158名(単体)
本社・工場	〒481-8601 愛知県北名古屋市宇福寺神明65番地 Tel.(0568)23-3111(代) Fax.(0568)22-3222
東京営業部	〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-5-8 KDX神田北口ビル4F Tel.(03)3256-3891(代) Fax.(03)3256-3893
子会社	オサ機械株式会社 蘇州日技通用包装机械有限公司

(2020年7月31日現在)

役員

代表取締役社長	牧野 研二
取締役副社長	小関 幸太郎 (オサ機械(株) 代表取締役)
常務取締役	鈴木 完繁 (オサ機械(株) 代表取締役社長)
取締役	尾関 津義
取締役	水野 智之
社外取締役(監査等委員)	福井 義雄
社外取締役(監査等委員)	村橋 泰志
社外取締役(監査等委員)	浅井 一郎
社外取締役(監査等委員)	森田 卓寿

(2020年10月23日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	5,600,000株
発行済株式総数	1,798,800株
株主数	603名

(2020年7月31日現在)

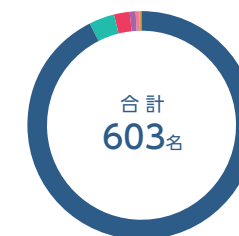
大株主

株主名	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社FAMS	270,000	15.03
ゼネラルパッカー従業員持株会	243,300	13.54
MSIP CLIENT SECURITIES	86,400	4.81
ゼネラルパッカー取引先持株会	81,200	4.52
株式会社りそな銀行	78,400	4.36
高野 季久美	77,800	4.33
田中 かな	77,800	4.33
梅森 輝信	53,700	2.98
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	47,985	2.67
島末 孝法	39,200	2.18

(2020年7月31日現在)

株主数構成比

株式数構成比



種類	人数/株数	比率 (%)
個人・その他	558名	92.54%
その他法人	23名	3.81%
証券会社	13名	2.16%
外国人	4名	0.66%
金融機関	4名	0.66%
自己名義	1名	0.17%
個人・その他	1,227,006株	68.21%
その他法人	337,680株	18.77%
金融機関	128,285株	7.13%
外国人	89,100株	4.96%
証券会社	15,258株	0.85%
自己名義	1,471株	0.08%

## IRサイトでも、詳しい情報を提供しています。

当社ホームページでは、新着情報、会社情報、商品情報、IR情報等、様々な情報をご提供しています。今後も皆様にお役立ていただけるよう掲載情報の一層の充実を図ってまいります。

▼トップページ

▼IRページ



企業ホームページ

## 最優秀サイト

日興アイ・アール  
新興市場ランキング

## 9年連続受賞

### 主なコンテンツ

#### 経営方針・戦略

当社の企業ビジョンや中期経営計画、CSR情報などをご覧ください。

#### 決算・IR資料室

アナリスト向けの決算説明会の様子が動画でご覧いただけます。

### 個人投資家の皆さまへ

業界情報や事業内容や特長、配当についてわかりやすく解説しています。

<https://www.general-packer.co.jp/ir/>

### 株主メモ

事業年度	8月1日から翌年7月31日まで
定時株主総会	10月
基準日	定時株主総会 7月31日
	期末配当金 7月31日
	中間配当金 1月31日
	その他あらかじめ公告する一定の日
株主名簿管理人	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社

同事務取扱場所	〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社 本店
お問い合わせ先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 Tel. 0120-707-843 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告掲載URL	<a href="https://www.general-packer.co.jp/">https://www.general-packer.co.jp/</a>

#### 各種手続きのお申出先

- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- ・住所変更、単元未満株式の買取、配当金受取方法の指定等証券保管振替機構(ほふり)をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。証券保管振替機構(ほふり)をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社へお申出ください。

## 包装システムのトータルプランナー ゼネラルパッカー株式会社

### 本社・工場

〒481-8601 愛知県北名古屋市宇福寺神明65番地  
Tel. (0568) 23-3111 (代) Fax. (0568) 22-3222

### 東京営業部

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町三丁目5番地8 KDX神田北口ビル4F  
Tel. (03) 3256-3891 (代) Fax. (03) 3256-3893

